

2021年度
Aセメスター(A1・A2)
科目紹介 [シラバス抜粋]

東京大学教養学部前期課程

はじめに

この冊子には、2021 年度の A セメスターに教養学部前期課程の 1・2 年生に対して開講される講義内容の概要（『科目紹介』）と、学年・科類・専門学部ごとの時間割（『時間割表』）が記載されています。

『科目紹介』では、時間割ごとに講義に関する情報を記載していますが、より詳しい情報は、UTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>) のシラバスで公開していますので、履修を検討している講義については必ず参照してください。それぞれの講義内容をよく比較して、各自履修計画を立ててください。なお、こちらは『履修の手引き』の I-4 に掲載されている、(表 2)「前期課程で各科類の学生が取得すべき必要最低単位数」の順に記されています。

『時間割表』は、「科類別時間割表」「総合科目等時間割表」「専門科目一覧表」に分かれています。受講するクラスが指定されている科目は、科類ごとに「科類別時間割表」に、受講するクラスが指定されていない総合科目、主題科目及び展開科目は、「総合科目等時間割表」に、各種情報が記載されています。

入学時に配付された『履修の手引き』を参照して、前期課程の修了要件を満たすためにはどの科目群からどの程度の単位の履修が必要か、進学志望の学部・学科等の要望科目・要求科目はどうなっているか、将来進むべき専門分野の基礎知識を十分につけ、あわせて幅広く深い教養を身につけるためにはどのような組み合わせで講義を履修するのがよいかなどを十分に考えて、バランスよく履修計画を立ててください。

A セメスター（A1・A2 ターム）科目紹介

この電子ブックには A セメスター（A1・A2 ターム）に開講される科目の科目紹介（シラバス抜粋）が掲載されていますので、履修計画を立てる際の参考にしてください。各授業のシラバスは、UTAS にログインの上、画面上「シラバス」メニューから「(シラバス参照)」を選択することで参照ができます。UTAS 上のシラバスは本冊子の科目紹介よりも多くの情報が掲載されていますので、履修を考えている授業については、必ず UTAS 上のシラバスを参照するようにしてください。

科目紹介（シラバス）例（科目ごとに掲載されている項目・情報は異なります）

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	単位	対象
①	②	東大概論	駒場 太郎	③	④	⑤	⑥
講義題目 目標概要							

①時間割コード

それぞれの授業に割り振られている固有の番号です。UTAS でシラバスを参照する際などに使用します。

②開講区分

授業が開講される期間を示します。それぞれの表示は以下の期間での開講を表します。

開講区分	正式名称	授業の開講期間
A	A セメスター	概ね 10～1 月
A1	A1 ターム	概ね 10～11 月
A2	A2 ターム	概ね 12～1 月

授業日の詳細については、授業日程を参照してください。

③所属

教養学部（総合文化研究科）が開講する授業は、開講元の部会名又は学科（専攻）が掲載されています。
他学部・研究科等が開講する授業は、当該学部・研究科等の名前が掲載されています。

開講所属凡例

教養学部前期課程部会
英語
ドイツ語
フランス語・イタリア語
中国語
韓国朝鮮語
ロシア語
スペイン語
古典語・地中海諸言語
法・政治
経済・統計
社会・社会思想史
国際関係
歴史学
国文・漢文学
文化人類学
哲学・科学史
心理・教育学
人文地理学
物理
化学
生物
情報・図形
宇宙地球
相関自然
スポーツ・身体運動
数学
PEAK 前期
日本語
先進科学

教養学部
統合自然科学科

総合文化研究科
言語情報科学専攻
超域文化科学専攻 表象文化論コース
超域文科化学専攻 比較文学比較文化コース
地域文化研究専攻
地域文化研究専攻 アジア・日本文化研究コース

その他（後期課程諸学部、全学センターなど）
情報メディア科学委員会
法学部
医学部
新領域創成科学研究科
先端科学技術研究センター
生産技術研究所
人間の安全保障プログラム
etc.

④曜限

授業が行われる曜限が掲載されています。「集中講義」と記載されている授業は、特定の日程や授業期間外に行われることがありますので、授業内容を確認してください。

⑤単位

当該授業に合格した場合に得られる単位数が掲載されています。当項目の掲載がない科目については、『履修の手引き』p.6 に掲載されている内容に従います。

⑥対象

授業の対象となる科類やクラスが掲載されています。欄内の数字は組番号を表し、複数クラスが対象の場合は「6,16-18,20」のように範囲を示しています（この場合は 17 組も対象クラスに含みます）。「奇数」「偶数」と記載のある場合には、学生証番号末尾の数字の奇数・偶数で対象学生を示しています。本項目で指定されていない科類・クラス等に所属している学生は当該授業の履修登録を行うことができないので、注意してください。

⑦科目紹介の内容

具体的な科目紹介の内容が掲載されています。授業によっては、履修にあたっての注意点等が挿入されていることがあります。不明な点は教務課に必ず確認の上、履修登録を行うようにしてください。

英語の履修について

既修外国語の英語は各科目 1 単位または 2 単位で、計 5 単位の科目群であり、英語一列（教養英語）・英語二列 S（アカデミック・ディスカッション）・英語二列 W（アカデミック・ライティング）に分けられる（その他に総合科目 L 系列 3 単位）。

英語一列（教養英語）は共通教科書とこれに関連する音声教材を使用する習熟度別の授業である。英語二列 S も同じく習熟度別の授業であり、文科生、理科生とも FLOW(Fluency-Oriented Workshop)のプログラムにより実施する。英語二列 W は、文科生は ALESA(Active Learning of English for Students of the Arts)、理科生は ALESS(Active Learning of English for Science Students)のプログラムにより実施する。

●本冊子においては、次頁以降「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」のシラバスが掲載されている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」は所属クラスに応じてあらかじめ指定された授業を履修する。「英語一列」「英語二列 S」は習熟度別にクラスが分けられている。

●「英語一列」「英語二列 S」「英語二列 W」の 3 科目をそれぞれのターム・セメスターに履修するかについては、所属クラスにより異なり、下表の 4 つのグループにあらかじめ分けられる。「(クラス指定総合科目 L)」と記載されている部分については、総合科目 L 系列「英語中級」が所属クラスに対するクラス指定の授業として開講される。

所属クラス	ターム・セメスター			
	1S1	1S2	1A1	1A2
	1S		1A	
文一二 (8,11,22,25-26) 文三 (5,7,11,14,19) 理一 (1-4,12,17,18,20,23,31,35-36,39) 理二三 (11,13,20,23)	英語一列①	英語二列 S	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列②
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (5-6,13,15,16,18-19,24) 文三 (6,10,12,17) 理一 (7,9,13,19,25,28,30,34,37) 理二三 (6-7,18,19,22)	英語一列①	(クラス指定 総合科目 L)	英語二列 S	英語一列②
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	
文一二 (1-3,7,10,17,20-21,23,27-28) 文三 (1-3,9,15-16) 理一 (8,11,16,21,24,27,29,33) 理二三 (4,8,9,14,17,21)	英語二列 S	英語一列①	英語一列②	(クラス指定 総合科目 L)
	(クラス指定総合科目 L)		英語二列 W	
文一二 (4,9,12,14) 文三 (4,8,13,18,20) 理一 (5-6,10,14-15,22,26,32,38) 理二三 (1-3,5,10,12,15-16,24)	(クラス指定 総合科目 L)	英語一列①	英語一列②	英語二列 S
	英語二列 W		(クラス指定総合科目 L)	

外国語（英語一列・特別クラス）

英語一列（教養英語）・特別クラス					
《英語一列①（教養英語）》					
目標・概要	「教養英語」は、本学教養学部の英語部会教員が教養課程における英語学習のために作成した、理科学、文科学を問わず学生の知的関心に応える高度で分野横断的な内容をもつ教科書『教養英語読本』と、これに関連したリスニング教材を使用して行う授業である。リスニング教材（音声）およびスクリプトは下記「関連ホームページ」で配信する。クラスは、学生の習熟度に合わせて三段階に分かれており、それぞれのグループの学生にもっとも適した進度や授業方法を採用する。その際、全クラスで共通して学習する部分を一定量設けて試験範囲とし、これに実力問題を加えた統一定期試験を実施する。				
授業の方法	各担当教員のシラバスを参照すること。				
成績評価方法	現時点では定期試験（統一試験）を予定。今学期においては平常点 5 割、定期試験 5 割となる。				
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養英語読本II 著者（訳者） 東京大学教養学部英語部会（編） 出版社 東京大学出版会				
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/efas/				
《英語特別クラス》					
非英語圏からの留学生、及び入試の外国語を英語以外で受験した者で、かつ英語の履修を希望する者は、英語部会の許可を得て「英語特別クラス」の履修で「英語一列②」「英語二列」「総合科目 L 系列 英語中級」の単位に充当することができる。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。					
《英語特修クラス（第 3 学期終了時点で平均合格していない進学内定者《平均点が 40 点以上 50 点未満》対象）》					
※2014 年度以前入学者対象 すでに学んだ英語科目の授業内容を復習し、不足部分を補いつつ、英語の運用能力を高めることを目指す。詳しくは UTAS 上のシラバスを参照のこと。履修希望者は第一週のガイダンス（日時、場所は掲示を参照）に出席すること。旧カリキュラム科目であり、現カリキュラム生は履修不可。					
授業科目名	担当教員	教室	開講	曜限	対象クラス
英語一列②	教養英語 担当教員	各教室	A1	火 3	1 年文一二（1-3,7,9,27）文三（1-3,8-9）理一（5-6,16,27）理二三（1-3,5,12,17）
				火 4	1 年文一二（4,21,23）文三（16,18）理一（21-22,32,38）理二三（8,14-15）
				水 2	1 年文一二（10,14,20）文三（4,13）理一（11,14-15,24）理二三（4,9-10）
				水 3	1 年文一二（12,17,28）文三（15,20）理一（8,10,26,29,33）理二三（16,21,24）
			A2	火 3	1 年文一二（13・24-25）文三（11・17）理一（1・4・9・18-19）理二三（7・13）
				火 4	1 年文一二（6・8・18）文三（5・7・12）理一（20・30-31・34-35）理二三（11・18・22）
				水 2	1 年文一二（5・15・19・26）文三（6・19）理一（7・12・23・28・36）理二三（6・23）
				水 3	1 年文一二（11・16・22）文三（10・14）理一（13・17・25・37・39）理二三（19-20）
英語特修	担当教員	シラバス 参照	A	集中	2014 年度以前入学の 2 年生

外国語（英語二列 S）

Fluency-Oriented Workshop (FLOW)				
授業の目標・概要		The course aims to build students' confidence and ability to engage fluently and critically in a classroom discussion, to be aware of their weaknesses, and to have the tools to improve autonomously.		
成績評価方法		Grades are based on active participation in class activities and on related assignments.		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	開講	曜限	担当教員	対象クラス
50319	A 1	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50320	A 1	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50321	A 1	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50323	A 1	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50324	A 1	火 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50325	A 1	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50326	A 1	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50328	A 1	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50329	A 1	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50330	A 1	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50331	A 1	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50332	A 1	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50333	A 1	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50380	A 1	火 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(13,24)文三(17)理一(9,19)理二三(7)
50322	A 1	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50379	A 1	火 4	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50381	A 1	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50382	A 1	火 4	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50383	A 1	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50385	A 1	火 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50386	A 1	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50388	A 1	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50389	A 1	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50390	A 1	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50391	A 1	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50392	A 1	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50393	A 1	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50394	A 1	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(6,18)文三(12)理一(30,34)理二三(18,22)
50484	A 1	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50485	A 1	水 2	マニナン ジョン	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50487	A 1	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50488	A 1	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50489	A 1	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50490	A 1	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50491	A 1	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)

外国語（英語二列 S）

50492	A 1	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50493	A 1	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50494	A 1	水 2	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50495	A 1	水 2	モレノ ベナランダ ラケル	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50496	A 1	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50497	A 1	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50498	A 1	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50499	A 1	水 2	片山 晶子	1 年 文一二(5,15,19)文三(6)理一(7,28)理二三(6)
50579	A 1	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50580	A 1	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50581	A 1	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50582	A 1	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50583	A 1	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50584	A 1	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50585	A 1	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50586	A 1	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50587	A 1	水 3	モレノ ベナランダ ラケル	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50588	A 1	水 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50589	A 1	水 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50590	A 1	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50591	A 1	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50593	A 1	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50594	A 1	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
50595	A 1	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(16)文三(10)理一(13,25,37)理二三(19)
60103	A 2	火 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60104	A 2	火 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60105	A 2	火 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60107	A 2	火 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60108	A 2	火 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60109	A 2	火 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60110	A 2	火 3	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60112	A 2	火 3	Kartika Diana	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60113	A 2	火 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60114	A 2	火 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60115	A 2	火 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60116	A 2	火 3	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60117	A 2	火 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60119	A 2	火 3	モレノ ベナランダ ラケル	1 年 文一二(9)文三(8)理一(5-6)理二三(1-3,5,12)
60106	A 2	火 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60118	A 2	火 4	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60120	A 2	火 4	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60121	A 2	火 4	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60122	A 2	火 4	ナオミ バーマン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)

外国語（英語二列 S）

60123	A 2	火 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60124	A 2	火 4	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60125	A 2	火 4	ジェームズ エリンガー	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60126	A 2	火 4	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60128	A 2	火 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60129	A 2	火 4	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60130	A 2	火 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60132	A 2	火 4	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60133	A 2	火 4	マニナン ジョン	1 年 文一二(4)文三(18)理一(22,32,38)理二三(15)
60150	A 2	水 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60151	A 2	水 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60152	A 2	水 2	SENNA IV MANUEL	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60153	A 2	水 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60154	A 2	水 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60155	A 2	水 2	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60156	A 2	水 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60157	A 2	水 2	片山 晶子	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60158	A 2	水 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60159	A 2	水 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60160	A 2	水 2	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60161	A 2	水 2	Kartika Diana	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60162	A 2	水 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60164	A 2	水 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60165	A 2	水 2	マニナン ジョン	1 年 文一二(14)文三(4,13)理一(14-15)理二三(10)
60166	A 2	水 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60167	A 2	水 3	ナオミ バーマン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60168	A 2	水 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60169	A 2	水 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60170	A 2	水 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60171	A 2	水 3	AKINDELE Tito	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60173	A 2	水 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60174	A 2	水 3	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60175	A 2	水 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60176	A 2	水 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60177	A 2	水 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60178	A 2	水 3	Kartika Diana	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60179	A 2	水 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60180	A 2	水 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60181	A 2	水 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)
60182	A 2	水 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(12)文三(20)理一(10,26)理二三(16,24)

外国語（英語二列 W）ALESA

Active Learning of English for Students of the Arts (ALESA)			開講区分	A
授業の目標・概要		This course introduces students to the skill of building an effective written argument in English supported by sources and evidence and to the conventions of formal writing. By the end of the course, students will: - be able to present a clear position which is supported by evidence and addresses alternative points of view; - understand the organisation and rhetorical features of an argumentative essay; - be familiar with basic stylistic conventions of academic writing.		
授業の方法		Class activities will include reading and analyzing argumentative writing in English; developing a position on a issue on the basis of individual research; engaging in a variety of pre-writing exercises; writing and revising; and using peer feedback to improve students' own and others' work in discussion and written comments. The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and discussion.		
成績評価方法 関連ホームページ		Grades are based on writing assignments, discussion, and participation in class activities. http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50032	月 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50033	月 2	片山 晶子	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50034	月 2	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50035	月 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50036	月 2	Kartika Diana	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50037	月 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50039	月 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50040	月 2	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50042	月 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50050	月 2	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(8,22)文三(5,7,9)	
50719	木 2	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50720	木 2	ナオミ バーマン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50721	木 2	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50723	木 2	片山 晶子	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50725	木 2	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50726	木 2	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50727	木 2	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50728	木 2	DIETZ Richard	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50746	木 2	船田 なつの	1 年 文一二(7,23,26)文三(14)	
50152	木 3	船田 なつの	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50775	木 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50776	木 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50777	木 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50778	木 3	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50779	木 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50782	木 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50783	木 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(10,17,20)文三(19)	
50892	金 1	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)	
50893	金 1	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)	

50895	金 1	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50896	金 1	Kartika Diana	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50897	金 1	PAZDZIORA JOHN PATRICK	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50898	金 1	TSAI Aurora Marjorie	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50899	金 1	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50900	金 1	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50901	金 1	DIETZ Richard	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50902	金 1	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(1-3,11,25,27)文三(1-3,15)
50985	金 3	SEDDON Ryan John	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50986	金 3	Kartika Diana	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50988	金 3	ディーエル グレゴリー ロジャース	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50989	金 3	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50990	金 3	ハンセン キャサリン	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50991	金 3	BUENO Alex Falcon	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50992	金 3	VANDEN BUSSCHE Eric Armand	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50993	金 3	DIETZ Richard	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)
50994	金 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 文一二(21,28)文三(11,16)

外国語（英語二列 W）ALESS

Active Learning of English for Science Students (ALESS)			開講区分	A
授業の目標・概要	In this course, students learn about formal scientific writing and style in English; the organization, language, and rhetoric of scientific papers; and the process of writing and preparing formal papers through peer review and revision.			
授業の方法	Class activities include reading and analyzing scientific writing in English, designing a research project, group work, peer review of student writing, and speaking activities. Each student writes a research paper based on an application of the scientific method.			
成績評価方法	The class is taught in English, and students are encouraged to speak English in class. Graduate-student teaching assistants are available in the ALESS Lab and the Komaba Writers' Studio to help students with their research, writing, and presentation.			
関連ホームページ	Grades are based on writing a research paper, speaking activities, written assignments, and participation in class activities. http://ale.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50048	月 2	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(4,35-36)	
50049	月 2	SENNA IV MANUEL	1 年 理一(4,35-36)	
50051	月 2	マニナン ジョン	1 年 理一(4,35-36)	
50052	月 2	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(4,35-36)	
50053	月 2	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(4,35-36)	
50153	月 2	神島 智子	1 年 理一(4,35-36)	
50083	月 3	船田 なつの	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50084	月 3	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50085	月 3	SENNA IV MANUEL	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50086	月 3	SEDDON Ryan John	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50087	月 3	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50088	月 3	マニナン ジョン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50089	月 3	神島 智子	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50090	月 3	ナオミ パーマン	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50091	月 3	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50092	月 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50093	月 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50094	月 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50095	月 3	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50096	月 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50097	月 3	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(8,11,21,23-24,31,33)	
50054	月 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(12,16)理二三(13)	
50146	月 4	AKINDELE Tito	1 年 理一(12,16)理二三(13)	
50147	月 4	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(12,16)理二三(13)	
50148	月 4	ホールマン フランシス キャンドラー	1 年 理一(12,16)理二三(13)	
50149	月 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(12,16)理二三(13)	
50150	月 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理一(12,16)理二三(13)	
50151	月 4	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(12,16)理二三(13)	
50218	火 1	神島 智子	1 年 理二三(21,23)	
50219	火 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(21,23)	

50220	火 1	SEDDON Ryan John	1 年 理二三(21,23)
50221	火 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理二三(21,23)
50455	水 1	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(1-3,18,27)
50456	水 1	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(1-3,18,27)
50457	水 1	AKINDELE Tito	1 年 理一(1-3,18,27)
50458	水 1	ナオミ バーマン	1 年 理一(1-3,18,27)
50459	水 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理一(1-3,18,27)
50460	水 1	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理一(1-3,18,27)
50461	水 1	船田 なつの	1 年 理一(1-3,18,27)
50747	木 2	AKINDELE Tito	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50748	木 2	神島 智子	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50749	木 2	ジェームズ エリンガー	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50750	木 2	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50751	木 2	シンドレイエーバ ガリーナ	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50752	木 2	モレノ ペナランダ ラケル	1 年 理一(17,20)理二三(20)
50911	金 1	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(8,14)
50912	金 1	SENNA IV MANUEL	1 年 理二三(8,14)
50913	金 1	PEEBLES GRAHAM	1 年 理二三(8,14)
50914	金 1	タヴァレス ヴァスケス ジェーゴ	1 年 理二三(8,14)
50915	金 1	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理二三(8,14)
51010	金 3	PEEBLES GRAHAM	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51011	金 3	AKINDELE Tito	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51012	金 3	マニナン ジョン	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51013	金 3	SENNA IV MANUEL	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51014	金 3	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51015	金 3	テラシマ アレクサンドラ	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51016	金 3	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理一(29,39)理二三(9)
51050	金 4	AKINDELE Tito	1 年 理二三(4,11,17)
51051	金 4	BORDILOVSKAYA Anna	1 年 理二三(4,11,17)
51052	金 4	RUIZ TADA Elisa	1 年 理二三(4,11,17)
51053	金 4	マニナン ジョン	1 年 理二三(4,11,17)
51054	金 4	PULIDO ARCAS Jesus Alberto	1 年 理二三(4,11,17)
51055	金 4	SHEK-NOBLE LIZ	1 年 理二三(4,11,17)

基礎科目 ドイツ語

ドイツ語			開講区分	A
授業の目標・概要 一列・二列では共通教材『Einblicke』（東京大学教養学部ドイツ語部会編）を用いて、週二回の授業により、文法と読解を中心に、会話練習を交えながら総合的にドイツ語を学習する。 履修者は必ず、同一クラスの一列と二列を履修すること。一列もしくは二列のみの履修は認められない。 なお、L系列の科目、特にドイツ語初級（演習）も積極的に履修することを勧める。				
成績評価方法 教科書 平常点および試験によって行う。なお、1年生Sセメスターの一列・二列には同一の成績がつく。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者） 東京大学教養学部ドイツ語部会編				
関連ホームページ http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50060	月 2	ドイツ語一列②	三宅 晶子	1 年 理一(29)
50061	月 2	ドイツ語一列②	大石 紀一郎	1 年 理一(32)
50144	月 4	ドイツ語一列②	有信 真美菜	1 年 文三(15)
50335	火 3	ドイツ語一列②	石原 あえか	1 年 文一二(21)
50346	火 3	ドイツ語一列②	竹峰 義和	1 年 文三(16)
50351	火 3	ドイツ語一列②	稲葉 治朗	1 年 理一(31)
50404	火 4	ドイツ語一列②	久保 哲司	1 年 文一二(20)
50413	火 4	ドイツ語一列②	一條 麻美子	1 年 理一(28)
50418	火 4	ドイツ語一列②	石田 勇治	1 年 理二三(20)
50440	火 5	ドイツ語一列②	金 志成	1 年 理二三(18)
50625	水 4	ドイツ語一列②	長木 誠司	1 年 文一二(22)
50635	水 4	ドイツ語一列②	田中 純	1 年 理一(30)
50759	木 2	ドイツ語一列②	森 芳樹	1 年 理二三(19)
50825	木 4	ドイツ語一列②	高橋 宗五	1 年 文一二(1)文三(1)理一(1)理二三(1)
51022	金 3	ドイツ語一列②	瀬尾 文子	1 年 理二三(17)
51049	金 4	ドイツ語一列②	工藤 達也	1 年 理一(33)
50643	水 4	ドイツ語特修	有信 真美菜	2 年 文科 理科
50658	水 5	ドイツ語特修	高橋 宗五	2 年 文科 理科

基礎科目 フランス語

フランス語			開講区分	A
授業の目標・概要	文科学クラス、理科学クラスとも、一列・二列を通じて文法および講読の基礎を固める。 文科学は、これに加えて演習を履修し、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 理科学には、文科学の演習に相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が自由選択できるので、積極的に参加してほしい。			
成績評価方法	平常点（出席・授業への参加態度および小テストなど）と学期末試験で総合的に評価する。			
教科書	授業中に指示をする。／Will specify at class time			
関連ホームページ	http://langue-fr.c.u-tokyo.ac.jp			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50045	月 2	フランス語一列②	斎藤 かぐみ	1 年 文一二(24)
50062	月 2	フランス語一列②	桑田 光平	1 年 理一(37)
50108	月 3	フランス語一列②	今橋 映子	1 年 理一(38)
50109	月 3	フランス語一列②	伊達 聖伸	1 年 理一(39)
50139	月 4	フランス語一列②	佐々木 悠介	1 年 文一二(23)
50406	火 4	フランス語一列②	松村 剛	1 年 文一二(26)
50626	水 4	フランス語一列②	藤岡 俊博	1 年 文三(17)
50734	木 2	フランス語一列②	森元 庸介	1 年 文三(19)
50735	木 2	フランス語一列②	郷原 佳以	1 年 文三(20)
50755	木 2	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 理一(35)
50756	木 2	フランス語一列②	坂本 さやか	1 年 理一(36)
50760	木 2	フランス語一列②	黒木 秀房	1 年 理二三(22)
50792	木 3	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 文一二(25)
50793	木 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 文一二(27)
50794	木 3	フランス語一列②	関俣 賢一	1 年 文一二(28)
50795	木 3	フランス語一列②	井口 俊	1 年 文三(18)
50826	木 4	フランス語一列②	ビゼ	1 年 文一二(2)文三(2)理一(2)理二三(2)
50848	木 4	フランス語一列②	片岡 大右	1 年 理二三(23)
51017	金 3	フランス語一列②	渡邊 淳也	1 年 理一(34)
51023	金 3	フランス語一列②	治山 純子	1 年 理二三(21)
51024	金 3	フランス語一列②	鈴木 順子	1 年 理二三(24)
50612	水 3	フランス語特修	森元 庸介	2 年 文科 理科

基礎科目 中国語

中国語			開講区分	A
授業の目標・概要	中国語の要である発音をしっかりと身につけた上で、文法の基礎を一年かけて一通り学習する。 ●文科生は選択必修科目の初級演習をあわせて履修し、コミュニケーション能力を養成する。クラス別に開講するので、自分のクラスの初級演習を履修すること。 ●理科生向けには、選択科目の「初級演習」を開講しているので、一、二列で習ったことをもとに、コミュニケーション能力を高めることが望ましい。(火1に開講) ●既習クラスは、概要やテキストが異なるため該当クラスのシラバスを確認すること。			
成績評価方法	現時点では学期末試験を行う予定だが、詳細は未定である。状況に応じては別の方法をとることもあるので担当教員の指示に従うこと。			
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 漢語課本 著者(訳者) 小野秀樹・賈黎黎・吉川雅之 著 出版社 白帝社			
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50107	月 3	中国語一列②	大橋 義武	1 年 理一(20)
50143	月 4	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 文三(14)
50216	火 1	中国語一列②	山影 統	1 年 理一(22)
50412	火 4	中国語一列②	石村 広	1 年 理一(27)
50417	火 4	中国語一列②	楊 凱栄	1 年 理二三(13)
50467	水 1	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 理一(24)
50468	水 1	中国語一列②	小方 伴子	1 年 理一(26)
50515	水 2	中国語一列②	吉川 雅之	1 年 文一二(17)(TLP)
50516	水 2	中国語一列②	波多野 真矢	1 年 文一二(18)
50526	水 2	中国語一列②	伊藤 徳也	1 年 文三(12)(TLP)
50533	水 2	中国語一列②	中村 元哉	1 年 理一(19)
50538	水 2	中国語一列②	小野 秀樹	1 年 理二三(16)
50600	水 3	中国語一列②	王 楽	1 年 文三(11)
50729	木 2	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(14)
50754	木 2	中国語一列②	河野 直恵	1 年 理一(25)
50790	木 3	中国語一列②	下出 宣子	1 年 文一二(16)
50791	木 3	中国語一列②	河野 直恵	1 年 文一二(19)
50811	木 3	中国語一列②	松本 秀士	1 年 理二三(15)
50827	木 4	中国語一列②	毛 興華	1 年 文一二(3)文三(3)理一(3)理二三(3)
50830	木 4	中国語一列②	渡辺 剛	1 年 文一二(15)
50836	木 4	中国語一列②	菊池 真純	1 年 理一(3)理二三(3)
50908	金 1	中国語一列②	王 英輝	1 年 文三(13)
51008	金 3	中国語一列②	岩月 純一	1 年 理一(23)
51021	金 3	中国語一列②	朝倉 友海	1 年 理二三(14)
51032	金 4	中国語一列②	田原 史起	1 年 文一二(13)
51048	金 4	中国語一列②	石井 剛	1 年 理一(21)
50613	水 4	中国語特修	谷垣 真理子	2 年 文科 理科

基礎科目 ロシア語

ロシア語		開講区分	A	
授業の目標・概要		初修ロシア語の1年目はロシア語の文字からはじめて、ロシア語の基礎文法を修得する。1年を終えるころには簡単なロシア語テキストが自在に読める能力の獲得をめざす。 文系・理系を問わず、共通教科書を使用する。 Sセメスターに学んだ文法の基本を発展させ、さらに新しい文法項目を学ぶとともに、テキストによって読解の基礎をつける。		
成績評価方法		定期試験と平常点。		
教科書		適宜小テストを行うことがある。 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 Изучаем русский язык с нуля (ロシア語をはじめよう) 著者(訳者) 西中村浩・朝妻恵理子 出版社 朝日出版社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50209	火 1	ロシア語一列②	鳥山 祐介	1 年 文一二(4)文三(4)理一(4-5)理二三(4)【TLP】
50414	火 4	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 理二三(4)
50737	木 2	ロシア語一列②	安岡 治子	1 年 理一(4)
50738	木 2	ロシア語一列②	細川 瑠璃	1 年 理一(5)
50973	金 3	ロシア語一列②	乗松 亨平	1 年 文一二(4)
50995	金 3	ロシア語一列②	安岡 治子	1 年 文三(4)
50644	水 4	ロシア語特修	渡邊 日日	2 年 文科 理科

※TLP履修者は、対象クラスでTLPと指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

基礎科目 スペイン語

スペイン語			開講区分	A
授業の目標・概要				
スペイン語初修は、共通教科書『Brújula』を用い、1年間かけて、日常使われるスペイン語を理解し、簡単な文章を読んだり書いたり、またスペイン語でコミュニケーションをとるために必要な文法体系全体を学習する。Sセメスターでは、内容を1列（文法）と2列（講読）に分け（今年度はCOVID-19禍により、1列／2列をリレー方式で展開した。）、Aセメスターでは1列で文法・講読の両方を扱う。文系では、外国人教員が担当するクラス指定の演習を設け、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行う。また、スペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを週2回開講する。そのほかに、初級作文や初級会話の科目を開講しており、これらを履修することによりスペイン語の運用能力をさらに高めることができる。				
成績評価方法				
各担当教員に任されている。				
教科書				
次の教科書を使用する。／Will use the following textbook				
書名 Brújula-スペイン語学習の羅針盤				
著者（訳者） 東京大学教養学部スペイン語部会				
出版社 朝日出版社				
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50043	月 2	スペイン語一列②	三浦 航太	1年 文一二(9)
50064	月 2	スペイン語一列②	栗林 ゆき絵	1年 理二三(10)
50105	月 3	スペイン語一列②	渡辺 暁	1年 理一(16)
50112	月 3	スペイン語一列②	三浦 航太	1年 理二三(7)
50113	月 3	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(8)
50137	月 4	スペイン語一列②	渡辺 暁	1年 文一二(10)
50165	月 4	スペイン語一列②	三浦 麻衣子	1年 理二三(12)
50345	火 3	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1年 文三(10)
50356	火 3	スペイン語一列②	齊藤 文子	1年 理二三(11)
50416	火 4	スペイン語一列②	半澤 忠彦	1年 理二三(9)
50532	水 2	スペイン語一列②	三浦 航太	1年 理一(18)
50598	水 3	スペイン語一列②	三浦 航太	1年 文三(7)
50599	水 3	スペイン語一列②	久住 真由	1年 文三(9)
50630	水 4	スペイン語一列②	三浦 航太	1年 理一(9)
50632	水 4	スペイン語一列②	久住 真由	1年 理一(11)
50633	水 4	スペイン語一列②	和田 佳浦	1年 理一(17)
50743	木 2	スペイン語一列②	愛場 百合子	1年 理一(10)
50745	木 2	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 理一(15)
50784	木 3	スペイン語一列②	倉田 量介	1年 文一二(11)
50800	木 3	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(12)
50801	木 3	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 理一(13)
50829	木 4	スペイン語一列②	木崎 孝嘉	1年 文一二(8)
50837	木 4	スペイン語一列②	若林 大我	1年 理一(14)
50982	金 3	スペイン語一列②	有田 美保	1年 文一二(7)
50996	金 3	スペイン語一列②	三浦 航太	1年 文三(8)
51031	金 4	スペイン語一列②	松尾 俊輔	1年 文一二(12)
50614	水 3	スペイン語特修	上 英明	2年 文科 理科

基礎科目 韓国朝鮮語

韓国朝鮮語一列②			開講区分	A
授業の目標・概要 ●1年生初修クラス Sセメスターに引き続き、共通教材『ことばの架け橋（精選版）』を通じて文法と語彙を学んでいき、教科書を終えた後には、さまざまな教材を用いて一年間に学んだ文法知識の応用練習を行います。これらによってAセメスターの授業では、基礎文法を完全に習得した上で、辞書を引きながら新聞・雑誌記事を読める程度、また基本的な内容ならば自分の考えや意見を正確に表現できる程度の力を身につけることを目指します。 文科生はこのほか総合科目L系列において、韓国人教員が担当する「初級（演習）②」を履修し、基礎知識の応用をはかっていきます。 ●特修クラス これまでに学んだ内容の復習によって、韓国朝鮮語の基本的な能力を身に付けることを目指します。詳しくはUTAS上のシラバスを参照してください。 定期試験と平常点（出席、小テスト、課題など） 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『ことばの架け橋（精選版）』 著者（訳者） 生越直樹，三ツ井崇，チョ・ヒチョル 成績評価方法 教科書 関連ホームページ http://phiz.c.u-tokyo.ac.jp/~korea/korea_junior.html ※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50056	月 2	韓国朝鮮語一列②	新井 保裕	1年 理一(6)
50312	火 3	韓国朝鮮語一列②	河崎 啓剛	1年 文一二(5)文三(5)
50415	火 4	韓国朝鮮語一列②	三ツ井 崇	1年 理二三(5)
50645	水 4	韓国朝鮮語特修	三ツ井 崇	2年 文科 理科

基礎科目 イタリア語

イタリア語		開講区分	A	
授業の目標・概要		●1年生初修クラス I列II列では、Aセメスター前半までに、初級文法を一通り習得します。Aセメスター後半ではそれを応用しながら、比較的平易な現代文を中心としたテキストの読解と、接続法・条件法等の文法知識の整理を行います。テキストとして、東京大学イタリア語教材編集委員会編の文法教科書「イタリア語のスタート Italiano... in partenza!」（白水社）を適宜参照しながら、中級読解教科書『ピアッツァ』（東京大学出版局）を主に使用します。あわせて、ネイティヴスピーカの教員による、文法知識の定着と自然なイタリア語の習得のための演習が必修科目（文系）・国際コミュニケーション科目（理系）として開講されています。「国際コミュニケーション」として、ほかにも初級の会話・作文、テキスト分析Ⅰも開講されているので、積極的に受講してください。 ●既修クラス 総合科目L系列「国際コミュニケーション」科目の中・上級科目を既修者の単位として認定しています。 ●授業計画 1年生初修 ―Aセメスター前半 初級文法まとめ Aセメスター後半 講読中心 ●学習上のアドバイス 時間割上可能で意欲的な学習者には、総合科目L系列「国際コミュニケーション」で開講される選択科目「初級・中級会話」「初級・中級作文」「読解」「表現練習」等の受講をあわせてすすめます。授業には積極的に参加し、有効な学習としてください。		
成績評価方法 教科書		平常点とセメスター末の筆記試験 次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習』 著者（訳者） 東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 白水社		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること				
時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50313	火 3	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1年 文一二(6) 偶
50314	火 3	イタリア語一列②	藤崎 衛	1年 文一二(6) 奇
50530	水 2	イタリア語一列②	宮坂 真紀	1年 理一(8)
50731	木 2	イタリア語一列②	村松 真理子	1年 文三(6)
50797	木 3	イタリア語一列②	山崎 彩	1年 理一(7)
50810	木 3	イタリア語一列②	岡本 太郎	1年 理二三(6)
50646	水 4	イタリア語特修	村松 真理子	2年 文科 理科

基礎科目 日本語

日本語		開講区分	A	
授業の目標・概要		[注意事項] ● 日本語を、前期課程外国語科目の既修外国語、或は、[既修・既修選択]の初修外国語相当として選択した学生は、基礎科目一列② [必修科目] の授業に初回授業から必ず出席すること。 ● 新カリキュラムにおける日本語科目（基礎科目一列、二列 C、二列 P、総合科目 L 系列）の履修方法等について、基礎科目一列② の初回授業で説明があるので、必ず出席し説明を受けること。 ● 総合科目 L 系列科目(A1, A2)の登録について、UTAS や授業での指示に留意し従うこと。 ----- ● 基礎科目 日本語一列② 1 年生 既修外国語 （初修扱い外国語） 『テーマで考え議論する日本語』 - Active Learning in Academic Japanese for Arts and Sciences - 後半 教養・学術日本語 文理横断的なテーマに関して、文献リサーチ、読解・聴解、資料収集、調査、協働タスク、ディスカッション、プレゼンテーション、要旨・レジメ執筆等、様々な能動的な協働活動を通して、日本語の諸技能の習得・上達を目指しつつ、現象・問題や他者の意見を適格に理解する力、資料を分析しデータや論拠に基づき考え述べる力、自分の意見を構築し伝える力、議論し合う力、能動的学習力を養う。 総合科目 L 系列においては、相互に相補的な授業活動を行う。日本語科目カリキュラム全体・総合科目カリキュラム全体として、様々な分野・目的での四技能の習得・上達にバランス良く資するための授業を設定し、各々の総合科目 L 系列授業において、それぞれ特徴をもつ授業活動を行う。各授業の特徴・焦点目標については、UTAS の各シラバス参照。 総合科目 L 系列(一部)において、一列授業で扱うテーマ・内容・活動と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。『基礎科目 日本語一列』で扱うテーマやそのテーマでの読解・聴解・協働タスク・ディスカッション等の活動と連動して、一方で、正確な精読、構文・語彙習得（要約・文作・文章構成等、ライティングを含む）のための活動を行い、一方で、アクティブラーニングの発表・プレゼンテーション・発音演習やレポート執筆・論文執筆等、それぞれに特徴をもつ授業活動を行う。 ● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A1 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2：精読、構文・語彙習得・ライティング中心」（基礎科目日本語一列②と連動） 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「アカデミックライティング（1）ー日本語の短編小説を読み、エッセイを書く」 「Academic Writing for Science 1 理系のアカデミック・ライティング 1（準備編）」 「アカデミックライティング（5）-表現学習のためのツールー」 「読解を通じ、日本の歴史を考える（1）」 ● 総合科目 L 系列『日本語上級』 A2 ターム 「テーマで考え議論する日本語 2：レポート執筆・発表プレゼンテーション中心」（基礎科目日本語一列②と連動） 「アカデミックプレゼンテーションのための発音」 「アカデミックライティング（2）ー日本語の短編小説を批判的に読んで書評をまとめる」 「Academic Writing for Science 2 理系のアカデミック・ライティング 2（実践編）」 「アカデミックライティング（6）ーツールを用いた構成と形式の実践ー」 「近代日本の童話を読む」 「読解を通じ、日本の歴史を考える（2）」		
成績評価方法		「成績評価方法」は、科目・授業列により異なるので、UTask-Web 上のそれぞれの科目のページを参照すること。 全般的に、毎回の授業活動(および予習・復習)を重視し、出席、授業活動参加、ディスカッション、クイズ、宿題等の課題、発表、試験、レポート等を総合して評価する。詳細については第一回目の授業で配布するシラバスで説明する。		
教科書		その他。／Other		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50924	金 2	日本語一列②	奥川 育子、藤井 聖子	1 年 文科 理科
51067	金 5	日本語一列②	奥川 育子、藤井 聖子	1 年 文科 理科

身体運動・健康科学実習Ⅱ

身体運動・健康科学実習Ⅱ		開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技術を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目と共通基礎実習に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。		
教科書	体力テスト：例年は4月と12月に行い、評価に含めるが、今年度は実施しない。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価する。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。		
履修上の注意	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会		
学習上のアドバイス	種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我など）が無い限り認めない。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。 盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内のWebシラバスを学外IPアドレス端末から閲覧する際には、以下のユーザー名とパスワードが必要である。 ユーザー名：komaba パスワード：shintai2017		
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html		

※講義の詳細・受講するクラスについては、UTASを参照すること

時間割コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50046	月 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文三(4,11,16)理一(10-11,15,19,25-26)理二三(4,8)
50311	火 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(4,8)文三(18)理一(14,17,20,28,34-35,37-38)
50364	火 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(1-3,5,11-12,25)文三(1-3,14-15,17) 理二三(1-3,7,12,17,19)
50557	水 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(6-7,14-15)文三(8)理一(7,9,22,27,30)
50624	水 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(16,26-28)文三(9)理一(13,16) 理二三(16,20-22)
50736	木 2	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 理一(1-3,12,31-33)理二三(5-6,9-11,15,24)
50774	木 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(9,18,23)文三(6,12)理一(4-5,18) 理二三(13-14,23)
50983	金 3	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(10,13,17,19-20,24)文三(5,7,10) 理一(21,36)理二三(18)
51033	金 4	身体運動・健康科学実習Ⅱ	実技担当	1 年 文一二(21-22)文三(13,19-20)理一(6,8,23-24,29,39)

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ ィカルケア）

身体運動・健康科学実習Ⅱ（メディカルケア）		開講区分	A
授業の目標・概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体 の管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
成績評価方法	出席：身体運動・健康科学実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 達成度：各自が選択したコース・実技種目に関して達成度を評価する。評価方法は教員ごとに異なる。 レポート：実習内容に関連したレポートを提出させ、知識、理解度、文章表現力などを評価することがある。レポートのテーマと評価方法は教員ごとに異なる。 その他：態度、協調性、努力、技能など多様な観点で評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者） 東京大学身体運動科学研究室 出版社 東大出版会		
履修上の注意	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出があって担当教員が認めた場合は受講できる。また学期途中でも運動に制限が生じた場合はメディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談すること。 原則として授業は全て対面式で行う。対面授業への参加が難しい場合は、あらかじめ担当教員に申し出て、指示を仰ぐこと。 必ず健康診断を受けた上で実技授業に参加すること。 対面授業に参加する際は、手洗いやマスク着用など、感染症対策を徹底すること。 更衣室での密集・密接には十分注意し、必要以上の会話はしないこと。 体育館は土足、飲食禁止である。		
学習上のアドバイス	盗難が多いので貴重品の管理などには十分注意すること。 障害保険に加入することが望ましい。 後述する関連ホームページ内の Web シラバスを学外 IP アドレス端末から閲覧する際には、以下のユーザー名とパスワードが必要である。 ユーザー名：komaba パスワード：shintai2017		
関連ホームページ	https://idaten.c.u-tokyo.ac.jp/under_educ/timetable.html		
※講義の詳細・受講するクラスについては、UTAS を参照すること			

時間割 コード	曜限	授業科目名	担当教員	対象クラス
50177	月 5	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ ィカルケア 1）	実技担当	1 年 文科 理科
50475	水 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ ィカルケア 2）	実技担当	1 年 文科 理科
50001	月 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ ィカルケア 3）	実技担当	1 年 文科 理科
50222	火 1	身体運動・健康科学実習Ⅱ（メデ ィカルケア 3）	実技担当	1 年 文科 理科

基礎科目 社会科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50121	A	法Ⅱ	小粥 太郎	法・政治	月 3	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	法学のディシプリン・法律家の思考方法 具体的な設例を通じて、法学のディシプリン、法律家の思考方法を紹介・検討する。 学問が科学（自然科学、社会科学、人文科学・・・）でなければならないとすると、法学は、学問の仲間に入るのかどうか が怪しいということになる。こういう観点からすれば、法学は、学問というよりもむしろ技術というべきかもしれない。 ところが技術だけが法学の要素であるというのも、法学の特性を掴み損ねているように思われる。 授業では、具体的な設例に即して、法学のディシプリンや法律家の思考方法を紹介・検討することにより、法学を専攻しない 学生に対して、法学がどのような学問であるのか、あるいは、法学を修得した法律家（法曹、研究者など）の思考方法が どのようなものであるのかを体感してもらう材料を提供することに努めたい。 教養学部前期課程において提供される法学の入門的授業の内容やアプローチには多様なものがありうると考えており、 この授業は、その1つの試みです。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50452	A	法Ⅱ	沖野 眞己	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(1-11) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要	判例および法律文献を読む 「法Ⅰ」で法律・法学について基礎的な知識を習得したことを前提に、私法特に民法の分野を中心に、判例および法学・ 法律文献を読むことで、土台となる基礎的な法律関係を学びつつ、それぞれの問題について考察するとともに、法的な思 考・議論について学ぶ。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50453	A	法Ⅱ	福岡 安都子	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(12-19) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要	公法学のテキストを読む 【文一のみ履修可】 「法Ⅰ」で法学につき基礎的な知識を習得したことを前提に、引き続き、公法学分野の具体的素材とその読解を通じて、よ り多角的に法学に対してアプローチすることを目指す。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50454	A	法Ⅱ	原田 央	法・政治	水 1	1 年 文一 文一二(20-28) 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要	・この法Ⅱ授業は、日本語での授業の部分（11回）と、英語での授業の部分（2回）から成り立っています。 ・英語授業の部分についての内容、および全体の授業予定カレンダーは、後日お知らせします。 （以下、日本語授業の部分についての説明となります） ＊授業の詳細については ITC-LMS 上で案内します。（9月上旬予定）随時チェックしてください。 ・この授業では、法は何のためにあるのか、そのために法はどのような基本的特徴・構造をもっているのか、を基礎から 考えてみたいと思います。 ・皆さんは、法Ⅰでは、法に関する基礎知識を学んだと思いますが、 ・この法Ⅱでは、（法Ⅰで学んだ知識を前提にしつつも）知識・情報を詰め込むことよりも、まずは、法がかかわる・解 決しようとしている問題がどういうものかを、皆さんが感じ取ることを重視します。 ・その上で、そうした問題を、どのように解決するのか、この点を理論的に一步一步基本から検討していきます。これ により、法が本来備えているはずの基本的特徴・構造の最も基礎的な部分を理解することができるでしょう。 ・法の問題を感覚的に理解しておくこと、法の基礎的部分をしっかりと理解しておくこと、これらのことは、皆さんがこ れから法学の専門科目で各法分野の具体的内容を学ぶ際に、非常に重要です。 ・法学の勉強は、その分野の条文、裁判例、学説の内容をできるだけ細かく理解することが中心となりやすく、その全 体像が見失われがちです。 ・また、なぜそうなのか、そのように考えることにどのような意味があるのか、といった点を深く省察せずに、内容が 知識・情報として蓄積していきがちです。 ・この授業では、①できるかぎり自分が学ぶことの全体像を理解すること、自分の今勉強していることが全体の中でどの 位置にあるのかを理解すること、②一つずつ自分の頭で考えて批判的に検討して自分の考えを組み立てていくこと、③そ れを自分の実感的な問題意識と連動させて、主体的に勉強していくようになること、を目標にします。 ・授業では以下の主題を順番に取り上げます。 ・①法がかかわる・解決しようとする中心的問題は何か ・②それを解決するために法はどのようにかかわるのか（法以外、政治やデモクラシー、のアプローチの仕方と何が違う のか） ・③法の基本的特徴・構造はどのようなものか					

*この授業で「法」として取り上げるのは、主として「私法」（私人間の関係を規律する法）です。
 ・その理由は、この「私法」に、どの社会にでもある社会規範一般や倫理道徳とは大きく異なる、法の固有の特徴がみられるからです。
 ・授業では、皆さんの素朴な疑問、直感的に感じる違和感・疑問を尊重し、重要な手がかりとしたいと思います。
 ・そこから、一つずつ疑問を解消し、上述の3つの主題について明晰な理解を得られるように、授業ではできるかぎり分かりやすく説明していきます。
 ・しかし、それは素人万人がただ受講しさえすればわかるような内容ではありません。
 ・皆さんが、以下で示す作業をして、自分の頭で考えて、感じて、主体的に授業内容を消化吸収するように取り組むことが前提になっています。
 ・それをせずに授業内容を理解できるということは一切保証されません。
 ・授業の準備作業を欠かさずに自分で行い、授業に主体的に参加して質問・意見を述べることを強く求めます。
 ・授業の進め方
 ・この授業では、皆さんに授業前の事前準備作業をお願いします。
 ・毎回事前に示される Question Sheet を読み、指示された文献資料を読み、その内容についての質問・意見をあらかじめ用意してください。
 ・毎回授業（Zoom オンラインで行います）は、その Question Sheet に対する皆さんの質問に答える形で進めます。
 ・この授業は、皆さんの積極的な授業参加を強く求めます。
 ・毎回授業のトピックについての説明は、基本的にはすでに Question Sheet の中に示されています。
 ・毎回オンライン上の対面授業は、その内容について不明な点、疑問点を解消するためのもものとして位置づけられます。皆さんの授業トピック内容理解を一層深めるための議論の場となります。
 *事前準備作業をせずに授業だけ出席しても、何を話しているのかわからないことになるでしょう。
 *毎回授業のトピックは、全体として、一つ一つ理解が積みあがっていくプログラムになっています。授業トピックのどこかを飛ばすと、そのあとの理解がとてもしづらくなりますのでご注意ください。
 ・授業のほかに、毎週オフィスアワー（オンライン）を設けます。
 ・ぜひ機会を活用して、授業では聞けなかったこと、授業の後に復習して疑問が生じた点などを質問して、理解を深めてください。
 ・授業準備作業について
 ・授業準備作業の中心は、Question Sheet を読み、その指示に従いながら、文献資料を自分で読んで検討することにあります。
 ・この授業では、皆さんに、特に古典（後述のリストをご参照ください）をとりあげて、それらに触れてもらいます。
 ・法や政治・デモクラシーがどのような問題にかかわって、どのように解決しようとしてきたか、そのどこに問題・限界があるのか、を理解するには、古典を読むのが良策の一つです。
 ・授業（Question Sheet）は、そうした古典を読むための読書案内・ガイドの役割を担います。
 ・取り上げる古典著作の質は保障されていますので、ぜひこの機会に、皆さんもその読解にチャレンジしてみてください。
 ・授業についての詳しい紹介・説明
 ・ITC-LMS 上にできるだけ早く公開しますので、9月以降随時チェックしてください。
 ・9月22日13:15からオンラインで、授業ガイダンスを実施する予定です。こちらの詳細についても、後日 ITC-LMS でご案内します。
 ・皆さんへのお願い（夏休みの宿題）
 ・Aセメスターで法Ⅱ授業を受講するに際し、夏休み中に以下の本をぜひ読んでおいてください。
 ・木庭顕『誰のために法は生まれた』朝日出版(2018年)
 ・著者が、中高生を対象として行った授業をもとにしたものです。
 ・法（や政治・デモクラシー）は、どのような問題にかかわって、何を解決しようとしてきたのか、それを皆さんが感覚的に理解してもらうために、有益な本でしょう。
 ・この本の中で取り上げられている文学作品もぜひあわせて読んでください。
 *特にこの本の1-70頁および、そこで取り上げられている映画『近松物語』（溝口健二監督）は、この法Ⅱ授業全体の準備作業として必ず読んでください。
 ・9月上旬には、法Ⅱ授業の資料のための Google Drive フォルダを用意する予定です。
 ・そのフォルダに、この本の一部分のコピーPDFをアップロードする予定です。
 ・もしこの本の調達が何らかの事情で難しいという方は、それまで今しばらくお待ちください。
 ・ジェイクスピア『ロミオとジュリエット』
 ・版はいずれでもかまいません。（授業で参照する際には、白水社Uブックスの頁を指示しますが、この版でなければいけないというわけではありません。むしろできれば、原文を読んでください。インターネット上、Amazon Kindle などで簡単に入手できます。）
 ・この授業全体の主題①について考えてもらうために、この本を挙げました。
 ・ロミオとジュリエットの恋愛はなぜ成就しなかったのでしょうか？どのような条件が備わらなければ、それは成就しないのでしょうか？この点を考えてみてください。
 ・マルセル・モース『贈与論』
 ・この授業では、マルセル・モース（森山工訳）『贈与論 他二篇』岩波文庫（2014年）を参照します。
 ・この「贈与論」は、この授業全体の主題①②③いずれを考える際にも大変重要な手がかりを提供してくれるものです。
 ・この著作を取り上げる理由は、第一に、私たちの社会に存在する個人の自由を抑圧するメカニズム（の一端）はどのようなものか、この著作に述べられている具体例から皆さんが感覚的にイメージしてもらうこと、そして第二に、そのメカニズムの特徴の理解を深めること、にあります。
 ・この授業中では何度もこの著作に言及します。特に、第2回授業では、この著作を取り上げて、詳しく検討します。
 *この著作も9月上旬に Google Drive フォルダにアップロードする予定です。（分量が多いので、重要箇所についてマーカー・コメントを付して、皆さんの読書のサポートになるようにします）
 ・このほかに授業で取り上げる著作
 ・第3回以降の授業で取り上げます。余裕のある方は、更に以下の古典も読んでみてください。
 エウリピデス「トロイアの女」、ソフォクレス「アンティゴネー」、ソフォクレス「ピロクテテス」、シェイクスピア『ヴェニスの商人』、バルザック「ゴブセック」
 ホッブス『市民論』、ホッブス『リヴァイアサン』、ロック『市民政府論』、スピノザ『神学・政治論』
 カント「世界市民という視点からみた普遍史の理念」、カント「永遠平和のために」、カント「理論と実践」、カント「人

倫の形而上学」、カール・マルクス『資本論』
このほかに、以下の文献について、授業では詳しく取り上げる余裕はありませんが、言及する機会を設けたいと思います。
モンテスキュー『法の精神』、トクヴィル『アメリカのデモクラシー』、エミール・デュルケーム『社会分業論』、マルクス＝エンゲルス「共産党宣言」、ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
＊授業ではこのほかに、法学関連文献・裁判例を取り上げます。それらについては、授業前に事前に読んでもらうために、適宜指示・案内します。

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50122	A	政治Ⅱ	伊藤 武	法・政治	月 3	1 年 文一 2 年 文一
講義題目 授業の目標概要	比較政治入門～先進国デモクラシーの政治 この授業では、先進国を中心としたデモクラシーを素材に、比較政治学の基礎から発展の入り口までを学びます。 比較政治学は、特定の国や事例を見るだけでは分からない論理や特徴を、比較の手法や理論を用いて明らかにする学問です。授業では、選挙や政党政治のように従来重要とされてきた分野だけでなく、ポピュリズムや専門家の役割など最近特に注目される新分野も扱います。欧米を含む先進国のデモクラシーがこれまで経験し、今抱えている問題は何か、それを解くにはどうしたらよいか、比較と理論の力を借りて考えていきましょう。 授業方法は、受講生のみなさんの多様な事情を考慮して、主要な内容はオンディマンド動画の配信によって解説し、前後にオンライン（ライブ）の解説、質問（チャット・Slido）と回答、課題実施などを組み合わせる予定です。下記の履修上の注意を必ず読み、初回ガイダンスに参加してください。 授業の理解と定着のためには、それなりに頭を捻って聴き、必要に応じて予習・復習してください。本科目の都合上、ある程度広く、比較政治学の共通の基盤となるような内容を扱いながら、専門的内容にも踏み込みます。最初は難しく思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、積極的に質問や復習してくだされば、十分理解と単位取得が可能な水準に設定されています。 それぞれの事情に応じた形で学びながら、みなさんと積極的に質問や課題を通じて交流できるのを楽しみにしています。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50476	A	政治Ⅱ	木寺 元	法・政治	水 1	1 年 文二 文三 2 年 文二 文三
講義題目 授業の目標概要	政治学入門 この講義では、現代日本政治を主な題材として、現実の政治を構成している諸制度と実際の政治のプロセスを理解するための、基礎的な知識の習得とそれに基づく思考の機会を提供します。扱う内容は、政治思想や政治史というより、政治制度により近いです。制度は大事。ゲームのルールだから。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	経済Ⅱ	中西 徹	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	国際経済の諸問題 グローバル化が深化してきた現代社会が直面する国際金融、国際貿易、国際開発における具体的な諸問題の考察を通じて、経済学の考え方や分析の枠組みについて理解する。					

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50441	A	経済Ⅱ	中西 徹	経済・統計	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	国際経済の諸問題 グローバル化が深化してきた現代社会が直面する国際金融、国際貿易、国際開発における具体的な諸問題の考察を通じて、経済学の考え方や分析の枠組みについて理解する。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50123	A	経済Ⅱ	竹野 太三	経済・統計	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		経済学Ⅱ 経済学で最も基礎的な理論である価格理論について学びます。 新聞やニュースで見聞きする経済の話題（為替と株の値動き、GDP 成長率、失業率の変化など）を一般教養として知っておくことと、これらを学問的に学ぶことには隔たりがあります。この隔たりは、経済用語の意味を知ることと、経済用語が表す経済現象の仕組みを理解することの違いによります。本講義では価格理論の概要を学ぶにあたって、後者に注力します。 具体的には、価格理論の概要を学ぶことに加えて、経済学的な考え方、つまり数学による考察の枠組みの妥当性、導出された数式の経済学的な意味と解釈について理解することを主目的とします。このため、本講義では経済学の言語である数学の概念を紹介し、また数式を展開することがあります。しかし、本講義の主たる目的は価格理論を概観し、市場という社会システムの意味と意義を理解することであって、数式の展開の技術を学ぶことではありませんので、式の展開は極力省くことなく、配布資料に記載しています。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50124	A	社会Ⅱ	網谷 壮介	社会・社会思想史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		政治思想史入門：「公的なもの」の思想史 この授業では、「公的なもの（the public）」が西欧の歴史においてどのように理解されてきたのかを学ぶことを通じて、政治思想史という学問への導入を行う。政治思想史とは、過去の人々が政治という営みをどのように捉え、思考し、それをどのような言説として伝達してきたのかを、歴史的文脈に照らして理解する学問である。ここで「政治」とは通常よりも広い意味で捉えられ、複数の人々がともに生きることにかかわる営み全てを指す。そのため政治思想史では、国家や権力、民主主義などのおなじみの政治学的テーマだけでなく、人間や道徳、社会、自然の理解といったより抽象的・根源的な問題をも視野に入れることになる。 「公的なもの」の理解（と同時に「私的なもの」の理解）は、歴史を通じて変化してきた。例えば、現代のリベラルな社会では私的領域で自由に生きるということに価値が置かれているが、こうした価値観は歴史的に見れば普遍的なものではない。むしろ公的な場に現れて活動するという生き方（活動的生）こそが重要だと考えられた時代もあった。 公的領域は人間の生にどのような意味を持つのか、誰が公的領域に参加するのか、公的領域はどのような空間であるのか。授業ではこうした問いに導かれながら、古代ギリシアから現代へと「公的なもの」の思想史をたどり、政治と私的な生、メディア、民主主義と全体主義、ジェンダー、プライバシー、新自由主義といったテーマを取り上げる。これを通じて、現在私たちが自明視している公と私のあり方がどのように生成されてきたのかを歴史的に理解し、現代社会を批判的に捉えるための一つの視座を獲得する。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50477	A	数学Ⅰ	寺田 至	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅰ 文科学向けに一変数関数の微分法と積分法に関する基礎的内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50478	A	数学Ⅱ	志甫 淳	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科学向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50479	A	数学Ⅱ	山本 昌宏	数学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		数学Ⅱ 文科学向けの、ベクトルと行列に関する基礎的内容や、計算手法を理解するための科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を総合科目「数理科学概論Ⅱ」で学ぶことができる。				

基礎科目 人文科学

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50125	A	哲学Ⅱ	國分 功一郎	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		想像力について考える―自閉スペクトラム症、他者、現代社会 想像力とは、ある対象が存在していないにもかかわらずそれを直観する心的能力のことを言う。この能力は近代の哲学において極めて大きな役割を果たしてきた。少なからぬ数の哲学者がこれを論じてきたし、特に 20 世紀には大きな注目を集めた概念であったと言える。ところが、一九八〇年代頃からであろうか、この概念は急激にその魅力を失っていった。いまでは論じられることの少ない概念になってしまった。 だが、現代はむしろ想像力の理論をこれまで以上に求めているように思われる。理由は少なくとも二つある。 1) 現代社会において、人間は、その平均的な想像力のキャパシティを優に超える行為を為しうようになっている。行為が想像力を追い越していると言ってもよい。自宅近くの店でチョコレートを買うという行為は、児童労働を許す遠くの国に手を貸す行為となりうるが、そのようなことを想像することは困難である。ボタンを一つ押しただけで、インターネットを経由して情報を世界中に同時に送り出すことができるが、そのことを知っていることと、その事態を想像できることは別である。絶え間なく、自らの想像力を超え出る仕方で行為し続ける我々の想像力の可能性と限界をどう考えたらよいだろうか。 2) 現在、自閉スペクトラム症（ASD）の研究が進む中で、その経験の内実が明らかにされつつある。そこから分かってきたのは、これまで人間の標準的な知覚構造として当然視されていたものが、実は脆弱であること、そしてそれは他者を通じて社会的に発生し、また維持されているということである。そして知覚構造は想像力と強い関係を持っている。知覚構造は見えていないものを想定すること（たとえば奥行きを想定すること）を求めるが、それを助けるのは想像力だと考えられるからである。現在の ASD 研究は人間主体に関するこれまでの哲学理論を塗り替える可能性がある。 本講義は現在の ASD 研究を出発点とし、その哲学的含意を現代社会との関連において捉えるべく、近代の哲学史を参照する、そのようなものである。講義の内容は目下進行中の担当者の研究プロジェクトであるから、仮説の部分も多く、また十分な結論にも辿り着いていない。出来上がったものを披露するタイプの講義ではなくて、研究している途中のものを共有するタイプの講義と考えていただきたい。 講義では何人かの哲学者の理論を参照するが、前提知識は必要ない。そのたびごとに各理論について説明を加える。したがって、講義は一つの問題を巡って展開するものであるが、参加者は最終的に哲学史についてのある程度の知識を獲得することができる。取り上げる予定である哲学者は次の通りである。 イマニュエル・カント／G・W・F・ヘーゲル／エトムント・フッサール／マルティン・ハイデガー／ジークムント・フロイト／ハンナ・アレント／ジャック・ラカン／ジル・ドゥルーズ／ジャック・デリダ／ジョルジオ・アガンベン／木村敏				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50442	A	哲学Ⅱ	山本 芳久	哲学・科学史	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		哲学の原典を読む 西洋哲学の基礎を、その原典に即しながら学ぶ。具体的には、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの『ニコマコス倫理学』と、西洋中世の哲学者トマス・アクィナスの『神学大全』を中心に、基本的なテキストを抜粋し、日本語で丁寧に読解していく。関連する範囲で、他の哲学者のテキストも読解する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50126	A	倫理Ⅱ	小松 美彦	哲学・科学史	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		死をめぐる生命倫理 本シラバスを入力している 2021 年 7 月 31 日現在、日本は新型コロナウイルス感染症の猛威の渦中にある。既に 1 年半に及び行方も不明なコロナ禍にあって、最も軽視されているのは人々の「死」であるように思われる。日本でも既に 1 万 5 千人以上の者が死亡しており、そこには 1 万 5 千以上の悲しみがあるにもかかわらずである。しかし、顧みれば、こうした死の軽視は今に始まったことではなく、脳死や安楽死・尊厳死の推進政策の延長線上での事態ではあるまいか。 そこで本講義では、現況の基点をなす脳死と安楽死・尊厳死の問題を主題として、死について倫理的かつ多角的に考える。そして講義の終盤では、レベルを一段上げて、M.フーコーや G.アガンベンが論じた「生権力」と「死権力」の問題を扱い、さらに「人間の尊厳」について考察する。 脳死と安楽死・尊厳死はもとより、死そのものに関して、自分の倫理的思考を錬磨することを目指す。そして、それを通じて、そもそも「倫理」とは何かを省みることを大目標とする。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50443	A	歴史I	大塚 修	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		イランの歴史と文化 この授業では、中東イスラーム地域の中でも、イランを中心とする地域の歴史と文化を扱います。イランは 1979 年のイスラーム革命以降、イスラーム的価値観に基づく国家づくりを掲げ、国際社会から孤立してきました。特に 2018 年にアメリカが核合意を離脱して以降、アメリカとの対立はいっそう深まっている状況にあります。しかし、中東イスラーム地域におけるイランの重要性については、いまだに十分な知識が提供されているとは言えない状況にはあります。イスラーム文化は非アラブ圏においても、各地域で独自の発展を遂げてきました。特に、イラン文化の影響は中央アジア、インド、トルコなど広範囲に及び、イスラーム教という宗教やその文化を考える上で看過できない重要な位置を占めています。そこで、この授業では、前イスラーム時代の在来文化と融合しながら発展してきたイランを中心とする地域のイスラーム教の在り方を歴史学的手法から再考し、一般的なイスラーム認識を相対化することを目指します。それと同時に、現代のイランや国民国家に関する諸問題について考えていきます。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50444	A	歴史II	渡辺 美季	歴史学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		異文化交流から見た琉球・沖縄の歴史 琉球は、12 世紀前後に王国形成を開始し、その後「沖縄県」として日本に組み込まれる 1879 年まで、東アジアの一王国として存続し、独自の文化的特徴を発展させた。本講義では、周辺諸国との交流の中で、琉球王国がいかにしてその文化的固有性を育んだのか、また沖縄県となった後、日本やアメリカとの関わりの中で、その文化がどのように継承され変容したのかを、時間軸に沿って講義する。近代とは異なる国家や国際関係のあり方への理解を深めることで、現在の諸地域や国家を相対化する視点を養い、変容しながらも近代以降に継承される文化を扱うことで、長いタイム・スパンで事象を捉える姿勢を身に付けることを目指したい。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50445	A	ことばと文学II	田村 隆	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		『源氏物語』 宇治十帖の世界 『源氏物語』の宇治十帖（橋姫～夢浮橋）は、光源氏死後の次世代の物語である。その舞台には宇治の地が選ばれた。源氏の死の場面は書かれず、続篇の物語は、匂兵部卿卷冒頭の「光隠れ給ひにし後」という一節、いわゆる「ナレ死」から始まるが、橋姫巻から始まる宇治十帖では正篇および匂兵部卿・紅梅・竹河の三帖をどう受けて展開しているかを橋姫・椎本の二帖を中心に読み解いてゆく。 本講義では、2017 年の 7 月から半世紀ぶりの改版が始まり本年 9 月に完結予定（全 9 冊）の岩波文庫をテキストに用い、正篇・続篇の分類では続篇に属する巻々の世界を味読する。物語の一語一語にこだわりながら共に精読してゆく。併せて、『源氏物語』全体についても理解が及ぶよう努める。 オンライン授業ということで、東大本『源氏物語』他の画像が検索できる「デジタル源氏物語」など、『源氏物語』の新しい研究ツールについても随時紹介する。				

時間割コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50446	A	ことばと文学III	品田 悦一	国文・漢文学	火 5	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		国民歌人と国民歌集——『万葉集』に取り憑かれた斎藤茂吉—— 近代短歌史上の巨人とも評される斎藤茂吉の生涯を、近代史における『万葉集』国民歌集化との関わりで捉え直す。茂吉の作歌信条が「写生／実相観入」と「万葉調」とに集約されることは周知のとおりだが、実のところ、彼が『万葉集』を熱烈に尊信するまでの過程には幾多の紆余曲折があった。茂吉にとって『万葉集』とは何であったのか——この問題を考えることを通して、古典とは何か、国民とは何かといった問題にも説き及ぶたい。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50127	A	ことばと文学IV	山田 広昭	仏語・伊語	月 3	1年 文科 2年 文科
講義題目 授業の目標概要		小説（物語）のことばとは何か 古今と洋の東西を問わず、小説を読むとき、人はまず物語の筋に関心をもち、それによって面白いとか面白くないとか言うのが普通です。しかし、その物語がどのようなやり方で、そしてどのような「ことば」で語られているのかという点に注目すると、小説の見え方がずいぶんと違ったものになってきます。 その「話」は誰によって語られているのか、作中人物なのか、作品内にはあらわれない誰かなのか、それとも語り手など存在していないのか。一人称小説、三人称小説という言い方が意味しているのは何か。二人称小説（えっと思ふかも知れませんが、存在しています。主人公が「あなた」とか「きみ」とかで指示されている小説です）はどんな効果を狙って書かれているのか。 上であげた問いはほんの一例ですが、こうした問いを、理論的なアプローチ（二十世紀後半に発達した分野でナラトロジーと呼ばれています）と実例（具体的な作品）の分析とを両輪にして、考察していきたいと思います。				

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50128	A	心理Ⅱ	浅野 倫子	心理・教育学	月 3	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要	心理学概論 物事を見聞きし、認識し、記憶する、思考する、行動する、言葉を操る。私たちが普段何気なく行うこれらのような認知的活動は、どのような仕組みの上に成り立ち、また、社会や文化、遺伝とどのように関係するのか。心理学とは、これらの問題について実証的に探究する学問である。人間の認知の仕組みを調べると、人間はどのようなことが得意、あるいは不得意かも見えてくる。これは工業デザインや社会制度といった私たちの日常生活の物事と密接に関わるものである。この授業では、以上のような問題意識を念頭に置いて心理学の成り立ちを概観し、人の心の基本的な仕組み及び働き、そして、それらを研究するための手法について学ぶ。「心（mind）の働き」についての学術的知識を身につけることを目標とする。					

時間割 コード	開講	授業科目名	担当教員	所属	曜限	対象
50480	A	心理Ⅱ	檜原 潤	心理・教育学	水 1	1 年 文科 2 年 文科
講義題目 授業の目標概要		心理学概論 心理学は「人の心の基本的な仕組み及び働き」を理解するための科学であり、「心」という目に見えないあやふやな対象について、科学的見地からなんとかソリッドな議論を積み重ねようと四苦八苦するところに学問としての魅力があります。19 世紀後半に科学としての心理学が成立して以降、沢山の心理学者たちがあらゆる手段を駆使して検討を重ねてきましたが、「人の心の全容」はいまだに明らかになっていません。それどころか、時代とともに研究領域の細分化・先鋭化が進み、心理学という学問領域の全容が年々捉えづらくなってきています。心理学者の間でさえ、「となりの研究領域については教養の授業で学んだきりで、現在どのような状況になっているのかよくわからない」という事態がしばしば生じています。 こうした状況を踏まえ、この授業では、「心理学という学問について自分なりの見取り図を作ること」を目標に学びを進めていきます。1 セメスターでカバーできる範囲には限りがあり、扱うトピックは「認知 (学習) 心理学」「発達心理学」「社会心理学」という 3 領域のものに限られますが、心理学のその他の領域とオーバーラップする部分は多々あるので、その部分を重点的に理解していきます。また、上記 3 領域について入門テキストに根差した解説を受けるだけではなく、授業内容と関連した近年の研究知見にも触れていきます。近年の研究には、心理学の複数領域のエッセンスを組み合わせたものが多いので、心理学の成り立ち (構成) についての理解を深める上できっと役立つことでしょう。 授業の到達目標は、以下の 3 点になります。 1. 「認知 (学習) 心理学」「発達心理学」「社会心理学」という 3 領域についての基礎知識を、正確かつわかりやすい言葉で説明できる。 2. 近年の心理学研究が、複数領域のエッセンスをどのように組み合わせているか、自分の言葉で説明できる。 3. 上記 1, 2 を踏まえ、心理学という学問について自分なりの見取り図を作ることができる (つまり、領域同士がどのように関連し合い、心理学が総体としてどこに進んでいるのか、自分の言葉で説明できる)。				

基礎実験

基礎実験		開講区分	A 1 / A 2
授業の目標・概要	自然科学の学習に不可欠な基本的な知識・技能を習得する。 1) 将来の自然科学の発展に対応できるように、自然科学諸分野の基礎的な実験方法と概念を理解できるようにする。 2) 基礎講義の内容を、基礎実験によってよりよく理解できるようにする。 3) 未知の自然現象の解明を目的とする研究実験に必要な観察力・姿勢を養い、みずから実験を計画する場合に不可欠な基本的技法を習得できるようにする。		
授業の方法	月曜から金曜の指定された曜日に週1回受講する。実施日程、実験種目ローテーション、事前準備などに関しては、UTAS もしくは ITC-LMS に掲示するので、前もって確認しておくこと。		
成績評価方法	成績は、出席、予習、実験ノート、提出物（化学実験は実験報告書、物理学実験は実験ノート）で評価する。		
教科書	次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 『基礎物理学実験』、 『基礎化学実験』 著者（訳者） 基礎物理学実験テキスト編集委員会、教養学部化学部会 出版社 学術図書出版社、 東京化学同人		
履修上の注意	過去ノートの持ち込みはカンニング行為とみなす。 実験室内は飲食禁止。		
関連ホームページ	http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/chemistry/exp/index.html		

※講義の詳細については、UTAS を参照すること

時間割コード	開講	曜限	科目名	対象クラス
50080	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50349	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50604	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50798	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51006	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
51451	A 1	集中	基礎実験 I (物理学) α	1 年 理一
60238	A 2	集中	基礎実験 II (物理学) α	1 年 理一
60004	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60032	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60078	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60085	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60091	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (物理学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50081	A 1	月 3, 月 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
50350	A 1	火 3, 火 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
50605	A 1	水 3, 水 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
50799	A 1	木 3, 木 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
51007	A 1	金 3, 金 4	基礎実験 I (化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
60005	A 2	月 3, 月 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(1-5,7,9,13-14,18)
60033	A 2	火 3, 火 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(23-25,29,33,36,39)
60079	A 2	水 3, 水 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(6,12,20-21,31,34-35)
60086	A 2	木 3, 木 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(8,10-11,15-17,19)
60092	A 2	金 3, 金 4	基礎実験 II (化学)	1 年 理一(22,26-28,30,32,37-38)
50110	A 1	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 奇
50354	A 1	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇
50610	A 1	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇
50808	A 1	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇
51019	A 1	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇
60006	A 2	月 3, 月 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 偶

基礎実験

60034	A 2	火 3, 火 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶
60080	A 2	水 3, 水 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶
60087	A 2	木 3, 木 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶
60093	A 2	金 3, 金 4	基礎物理学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶
50111	A 1	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 偶
50355	A 1	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 偶
50611	A 1	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 偶
50809	A 1	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 偶
51020	A 1	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 偶
60007	A 2	月 3, 月 4	基礎化学実験	1 年 理二三(1-3,5-6,9,11) 奇
60035	A 2	火 3, 火 4	基礎化学実験	1 年 理二三(10,16,21,24) 奇
60081	A 2	水 3, 水 4	基礎化学実験	1 年 理二三(14-15,17-18) 奇
60088	A 2	木 3, 木 4	基礎化学実験	1 年 理二三(4,8,19-20,22) 奇
60094	A 2	金 3, 金 4	基礎化学実験	1 年 理二三(7,12-13,23) 奇

微分積分学②

微分積分学②		開講区分	A
授業の目標・概要		代数学、幾何学とともに、数学の根幹をなす解析学について、その基本的な考え方や方法を学ぶ。力学における運動方程式などに代表されるように、自然界の多くの現象が、微分積分学を用いて記述される。微分積分学は、あらゆる科学技術の基礎となっている。微分積分学は17世紀末に、ニュートンやライプニッツらによって創成された。ニュートンは量の変化の記述に注目し、速度、加速度などの物理量を表現するために微分の概念を導入した。「微分積分学の基本定理」により、区分求積法によって定義される積分は、微分の逆操作であることが、明確に認識されるようになった。 微分積分学では、極限をとること、無限和をとることなどの操作が重要な役割を果たす。このような微分積分学の基礎となる極限の厳密な定義は、19世紀後半から整えられていった。この授業では、「数理科学基礎」で学んだ極限の扱いに基づき、微分積分学の基礎と応用を学ぶ。具体的な項目は以下の通りである。 S2タームで項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。 1. 一変数関数の微分 (微分の基本性質、テーラーの定理、テーラー展開) 2. 多変数関数の微分 (偏微分と全微分、合成関数の微分の連鎖律) 3. 多変数関数の微分 (続き) (高階偏微分、多変数のテーラーの定理とその応用) 4. 一変数関数の積分 (区分求積法、微分積分学の基本定理) 5. 多変数関数の積分 (多重積分と累次積分、多重積分の変数変換公式) 6. 無限級数と広義積分 (関数列の収束、広義積分) 実数の連続性に基づく微分積分学の基礎の厳密な展開は、2年次Sセメスターの総合科目「解析学基礎」で学ぶことができる。将来、本格的に数学を使う分野に進学しようという場合は「解析学基礎」によって微分積分学の理論的基礎を修得することをすすめる。なお、「解析学基礎」は1年次Sセメスターでも履修することができる。また、2年次Sセメスターの総合科目として、「微分積分学」の直接的な続きにあたる「微分積分学続論」、および「微分積分学」で学んだ事項の応用にあたる「常微分方程式」、「ベクトル解析」が開講される。主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。 その他。／Other	
成績評価方法			
教科書			
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/calculus.html	
※講義の詳細については、UTASを参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50065	月 2	畑 宏明	1 年 理二三(14-17)
50066	月 2	山浦 義彦	1 年 理二三(18-20)
50067	月 2	緒方 芳子	1 年 理二三(21-24)
50159	月 4	山本 昌宏	1 年 理一(20-23)
50160	月 4	金井 雅彦	1 年 理一(24-27)
50161	月 4	桐木 紳	1 年 理一(28-31)
50162	月 4	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50163	月 4	WILLOX RALPH	1 年 理一(36-39)
50407	火 4	松田 茂樹	1 年 理一(1,17-19)
50408	火 4	斉藤 義久	1 年 理一(2,4-5,8)
50409	火 4	岩木 耕平	1 年 理一(3,11-13)
50410	火 4	長井 秀友	1 年 理一(6-7,9-10)
50411	火 4	大場 清	1 年 理一(14-16)
50607	水 3	辻 雄	1 年 理二三(1-7)
50608	水 3	関口 英子	1 年 理二三(8-10)
50609	水 3	田中 公	1 年 理二三(11-13)

線型代数学②

線型代数学②		開講区分	A
授業の目標・概要		線型代数学の萌芽である行列は多変数の連立一次方程式を効率的、統一的に扱う手法として発明された。また、行列式は方程式の解がただ一つ存在するための条件として発見された。ベクトルの概念の起こりは古典力学にあり、その意味で線型代数学の歴史は古い。しかし行列の本質である線型性概念の真の威力が認識され、数学の一分野として線型代数学が確立したのは新しく、20世紀にはいつてのことであった。自然界や社会科学における現象は一般には複雑で一次方程式で表せることはまれだが、一次近似によりその本質的な部分をとらえることは常套手段であり、線型代数学の考え方は非常に有効である。また、量子力学や、フーリエ解析などに現れる無限次元のベクトル空間を扱うための基礎ともなっており、線型代数学の応用については枚挙にいとまがない。このように、線型代数学の考え方は現代数学や理論物理学においてはもちろんのこと、工学、農学、医学、経済学などにおいても基本的な考え方として浸透しており、応用範囲も広い。線型代数学は理論的には単純で明快であるが、その反面、抽象的な概念操作にある程度慣れないと理解しにくい面もある。線型代数学を身につけるには、演習などのさまざまな問題にあたり、理解を深めることが必要である。「数理科学基礎」において学んだベクトルと線型写像に関する知識を前提とする。S2タームでUTAS シラバス「授業計画」の項目1,2を扱い、Aセメスターで項目3～6を扱うことを目安とするが、担当教員によって、順序や内容に一部変更が加えられる場合がある。主として定期試験によるが、担当教員によって小テストやレポートを含めて評価する場合がある。その他。／Other	
成績評価方法			
教科書			
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/linear_algebra.html	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス
50469	水 1	植野 義明	1 年 理二三(1-7)
50470	水 1	ケリー シェーン	1 年 理二三(8-10)
50471	水 1	小林 正典	1 年 理二三(11-13)
50472	水 1	北山 貴裕	1 年 理二三(14-17)
50473	水 1	伊山 修	1 年 理二三(18-20)
50474	水 1	村上 順	1 年 理二三(21-24)
50802	木 3	相馬 輝彦	1 年 理一(20-23)
50803	木 3	下川 航也	1 年 理一(24-27)
50804	木 3	寺田 至	1 年 理一(28-31)
50805	木 3	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50806	木 3	山崎 満	1 年 理一(36-39)
51000	金 3	河澄 響矢	1 年 理一(1,17-19)
51001	金 3	白石 潤一	1 年 理一(2,4-5,8)
51002	金 3	戸瀬 信之	1 年 理一(3,11-13)
51003	金 3	木田 良才	1 年 理一(6-7,9-10)
51004	金 3	関口 英子	1 年 理一(14-16)

微分積分学演習・線型代数学演習

微分積分学演習・線型代数学演習					
授業の目標・概要	数学は講義を聴いただけでは意味を理解することが難しく、自分の手を動かして計算や証明をやってみる必要がある。この2つの科目は微分積分学や線型代数学の講義と一体であり、練習問題を解くことによって講義に対する理解を助け、応用力を養う。講義内容に即した応用問題の他に、講義の理解を深めるための証明問題や、講義で触れられなかった内容に関する補足問題を適宜付け加えることもある。				
成績評価方法	通常は定期試験を行わず、平常の出席点と対応する講義の試験結果とを組み合わせ、授業時間に発表した解答・提出レポート・小テストなどを適宜勘案した総合評価をもって成績とする。出席点が重視されるため、欠席を重ねると単位を出せなくなることがある。				
教科書	その他。／Other				
関連ホームページ	https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/				
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50115	A	月 3	微分積分学演習	畑 宏明	1 年 理二三(14-17)
50116	A	月 3	線型代数学演習	北山 貴裕	1 年 理二三(14-17)
50117	A	月 3	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(18-20)
50118	A	月 3	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理二三(18-20)
50119	A	月 3	微分積分学演習	今野 北斗	1 年 理二三(21-24)
50120	A	月 3	線型代数学演習	今野 北斗	1 年 理二三(21-24)
50426	A	火 5	微分積分学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(1,17-19)
50427	A	火 5	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(1,17-19)
50428	A	火 5	微分積分学演習	斉藤 義久	1 年 理一(2,4-5,8)
50429	A	火 5	線型代数学演習	白石 潤一	1 年 理一(2,4-5,8)
50430	A	火 5	微分積分学演習	岩木 耕平	1 年 理一(3,11-13)
50431	A	火 5	線型代数学演習	田中 雄一郎	1 年 理一(3,11-13)
50432	A	火 5	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理一(6-7,9-10)
50433	A	火 5	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理一(6-7,9-10)
50434	A	火 5	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(14-16)
50435	A	火 5	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(14-16)
50637	A	水 4	微分積分学演習	辻 雄	1 年 理二三(1-7)
50638	A	水 4	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理二三(1-7)
50639	A	水 4	微分積分学演習	鮑 園園	1 年 理二三(8-10)
50640	A	水 4	線型代数学演習	鮑 園園	1 年 理二三(8-10)
50641	A	水 4	微分積分学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
50642	A	水 4	線型代数学演習	牛腸 徹	1 年 理二三(11-13)
50838	A	木 4	微分積分学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(20-23)
50839	A	木 4	線型代数学演習	中村 勇哉	1 年 理一(20-23)
50840	A	木 4	微分積分学演習	金井 雅彦	1 年 理一(24-27)
50841	A	木 4	線型代数学演習	間瀬 崇史	1 年 理一(24-27)
50842	A	木 4	微分積分学演習	清野 和彦	1 年 理一(28-31)
50843	A	木 4	線型代数学演習	清野 和彦	1 年 理一(28-31)
50844	A	木 4	微分積分学演習	吉野 太郎	1 年 理一(32-35)
50845	A	木 4	線型代数学演習	梶原 健	1 年 理一(32-35)
50846	A	木 4	微分積分学演習	WILLOX RALPH	1 年 理一(36-39)
50847	A	木 4	線型代数学演習	山崎 満	1 年 理一(36-39)

数理科学基礎（補修）

数理科学基礎（補修）					
授業の目標・概要		科学・技術の礎となる数理科学の基礎的内容を学び，高等学校で学んだ数学から大学で学ぶ数学への橋渡しとする。 講義は微分積分と線型代数の二つのテーマからなる．本科目の講義内容は S2 タームから始まる「微分積分学」「線型代数学」に接続する．			
成績評価方法		定期試験による．			
教科書		授業中に指示をする。／Will specify at class time			
関連ホームページ		https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/sugaku/ms_sl.html			
※講義の詳細については、UTAS も参照すること					
時間割コード	開講	曜限	科目名	担当教員	対象クラス
50178	A	月 5	数理科学基礎（補修）	逆井 卓也	1 年 理科 2 年 理科
50659	A	水 5	数理科学基礎（補修）	柏原 崇人	1 年 理科 2 年 理科

電磁気学 A

電磁気学 A		開講区分	A
授業の目標・概要	電気・磁気の法則を電荷やその運動による電流が作り出す電磁場の法則として捉える事によって、電磁気現象を統一的に理解し、基礎方程式としてのマクスウェル方程式に至る。また、代表的な例題の解法を通じて、その内容と応用の理解を深める。 主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に＊印のついた項目は省略される場合がある。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系 ・静電場のエネルギーとストレス 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・静磁場の微分方程式 ・ベクトルポテンシャル ・ビオー・サヴァールの法則 ・円電流と等価磁石 ・単位系 5.電磁誘導とマクスウェル方程式 ・ファラデー・レンツの法則 ・変位電流と連続の方程式 ・マクスウェル方程式 ・電磁場のエネルギーと仕事 ・平面電磁波 ・準定常電磁場と交流回路 * 6.物質中の電磁場 * 考え方：分極電荷、磁化電流 * 誘電体、磁性体（常磁性、反磁性、強磁性） * 異なった物質の間の境界条件 * 物質中の電磁場エネルギー		
成績評価方法 教科書	主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other		
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50527	水 2	下村 裕	1 年 理一(1-5)
50529	水 2	水野 英如	1 年 理一(6,34-35)
50534	水 2	大井 万紀人	1 年 理一(30-33)
50535	水 2	森松 治	1 年 理一(37-39)
50536	水 2	久我 隆弘	1 年 理二三(1-2,19-20,22,24)
50537	水 2	多田 司	1 年 理二三(3,7-8,11)
50740	木 2	深津 晋	1 年 理一(7-8,26-29)
50742	木 2	小林 研介	1 年 理一(9,19,21)
50753	木 2	竹内 誠	1 年 理一(22-24)
50757	木 2	下村 裕	1 年 理二三(4,13,16,18)
50758	木 2	守田 佳史	1 年 理二三(12,14,17,23)
51042	金 4	大谷 宗久	1 年 理一(10-12)
51044	金 4	金澤 直也	1 年 理一(13-15)
51045	金 4	年吉 洋	1 年 理一(16-18)
51047	金 4	藤山 茂樹	1 年 理一(20,25,36)
51056	金 4	町田 友樹	1 年 理二三(5,9,15)
51057	金 4	石原 秀至	1 年 理二三(6,10,21)

電磁気学B

電磁気学B			開講区分	A
授業の目標・概要 入学試験で物理学を選択しなかった学生で希望する者を対象とする。 高等学校で未履修であること前提とした講義を行う。 講義では演習、宿題等を十分に課する。 目的は大学レベルの電磁気学を習得してもらう事である。入試において物理学を選択したものは受講資格がない。主な内容は以下の通り。 1.序論：自然界の基本的力と電磁場、ローレンツ力、電荷の保存 2.静電場 ・クーロンの法則とガウスの法則 ・電位とその性質 ・静電場の微分方程式（ガウスの定理、ストークスの定理） ・導体系、導体に働く力、静電場のエネルギーとストレス 演習 3.定常電流 ・オームの法則、連続の方程式 ・回路への応用（キルヒホフの法則） ・ジュール熱 4.定常電流による磁場 ・アンペールの法則 ・ビオー・サヴァールの法則 ・電流に働く力 ・円電流と等価磁石 ・磁場のエネルギー ・単位系 5.時間的に変動する電磁場 ・ファラデー・レンツの電磁誘導の法則 ・交流回路 6.変位電流とマクスウェル方程式 ・変位電流と電荷の保存 ・マクスウェル方程式（積分形） ・平面電磁波 演習 成績評価方法 教科書 主として定期試験によるが、担当教員の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other				
※講義の詳細については、UTAS を参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	対象クラス	
50528	水 2	上野 和紀	1 年 理一(1-6,30-35,37-39)理二三(1-3,7-8,11,19-20,22,24)	
50741	木 2	菊川 芳夫	1 年 理一(7-9,19,21-24,26-29)理二三(4,12-14,16-18,23)	
51043	金 4	國場 敦夫	1 年 理一(10-18,20,25,36)理二三(5-6,9-10,15,21)	

構造化学

構造化学		開講区分	A
授業の目標・概要	物質の多様な構造や性質，反応を体系的に理解するには，原子や分子に基づいた化学的な考察が不可欠である．本講義では，初歩的な量子論に基づいて，原子の構造や周期律，分子の化学結合の基礎を学ぶ．理論的な基礎だけでなく，契機となった実験結果や身近な物質・現象を通して理解を深めることを目指す．各教員が共通して取り上げる具体的な項目は，下記の通りである． 1. 量子論の必要性 ・原子の発光スペクトル(離散的なエネルギー準位，Bohr 原子) ・電子の粒子性と波動性(電子回折，物質波) 2. 量子論の基礎 ・Schrödinger 方程式(原子・分子の量子論の出発点) ・1 次元箱中の電子(ボリエンの吸収スペクトルと色) ・2 原子分子の振動(振動スペクトルと分子構造) 3. 原子の構造と性質 ・水素原子(量子数，エネルギー準位，原子軌道) ・Pauli の排他原理(電子スピン) ・多電子原子(元素の周期律と構成原理) 4. 化学結合と分子 ・水素分子イオン(分子軌道，化学結合) ・2 原子分子(分子の性質と電子構造) ※各授業の UTAS シラバスを参照すること その他。／Other		
成績評価方法 教科書	※講義の詳細については、UTAS を参照すること		
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50055	月 2	山口 和也	1 年 理一(5,31,33-34)
50059	月 2	立川 仁典	1 年 理一(20-22)
50063	月 2	十代 健	1 年 理二三(5-6,9,11)
50106	月 3	横川 大輔	1 年 理一(17,29-30,35)
50114	月 3	安池 智一	1 年 理二三(10,12-13)
50210	火 1	岩崎 純史	1 年 理一(7,12,27)
50217	火 1	河野 淳也	1 年 理二三(7,15,20)
50347	火 3	奥野 将成	1 年 理一(8,11,13)
50352	火 3	青木 優	1 年 理二三(4,18,22-23)
50353	火 3	小島 達央	1 年 理二三(8,14,19)
50602	水 3	中田 真秀	1 年 理一(4,16,18-19)
50606	水 3	澁田 靖	1 年 理一(24,28,36,38)
50631	水 4	石井 邦彦	1 年 理一(10,14-15)
50634	水 4	沖野 友哉	1 年 理一(23,25-26)
50636	水 4	齊藤 圭亮	1 年 理一(32,37,39)
50796	木 3	横川 大輔	1 年 理一(1-3,6,9)
50807	木 3	長谷川 宗良	1 年 理二三(1-3,16-17,21,24)
50891	木 6	羽馬 哲也（構造化学 α）	1 年 理科
51091	金 6	羽馬 哲也（構造化学 α）	1 年 理科

生命科学Ⅱ

生命科学Ⅱ		開講区分	A
授業の目標・概要		細胞生物学を中心に細胞の構造と機能の初歩を講義する。内容はほぼ以下の通りであるが、講義の具体的な進め方は教員によって多少異なることもある。開講時の説明をよく聞くこと。 1. 細胞内輸送 2. 細胞骨格と細胞運動 3. 細胞間・細胞内情報伝達 4. 神経伝達と機能 5. 細胞周期 6. 動物・植物の発生 7. 遺伝子の発現制御 8. ゲノムと進化 9. 生物多様性	
成績評価方法		UTAS 参照	
教科書		次の教科書を使用する。／Will use the following textbook 書名 理系総合のための生命科学－分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ－第5版 著者(訳者) 東京大学生命科学教科書編集委員会 編 出版社 (株)羊土社 ISBN 978-4-7581-2102-6	
※講義の詳細については、UTAS を参照すること			
時間割 コード	曜限	担当教員	対象クラス
50164	月 4	渡邊 雄一郎、豊島 陽子	1 年 理二三(10,14,16-17)
50166	月 4	加納 純子、池内 昌彦	1 年 理二三(18,20-22)
50910	金 1	道上 達男、末次 憲之	1 年 理二三(7,9,11-12)
50916	金 1	佐藤 健	1 年 理二三(13,15,23-24)
51018	金 3	山田 貴富	1 年 理二三(1-6,8,19)